

令和3年度 第2回 清瀬市男女共同参画センター運営委員会 議事録

日時:令和4年3月29日(火) 午前10時～12時

会場:男女共同参画センター 会議室

委員出席:6名

桑山委員長、木村委員、土屋委員、松山委員
今村委員、渡辺委員

委員欠席:6名

吉川委員、菊池委員、渡邊委員、上木原委員、小野委員、池田委員

事務局:原口センター長、西浦センター長補佐、小林専門員

議題

【令和3年8月～令和4年2月までの事業報告】

事務局より内容説明を行った。事業報告参照

【分科会活動報告】

委員長

運営委員会分科会のうちパートナーシップ制度について、色々調べていただいた副委員長代理から報告をお願いしたい。

委員

東京都で6月議会において条例の制定をし、その後秋に制度が開始されることとなり、清瀬市での話し合いは一時中断となっている。清瀬市では両方が市民であることが条件としていたが、東京都では一方が在住・在勤・在学であることと、かなりの範囲を網羅している。

東京都でのパブリックコメントは3月31日まで受付中なので、気になるところがあればまだ意見を出すチャンスはある。東京都での制度より更に当事者がやりやすい方法や、寄り添える方法があれば清瀬市として対応したい。

委員長

次にもう一つの分科会、男女平等推進条例、子どものガイドブックの改訂について、専門員から報告をお願いしたい。

委員

分科会を最後の方では月 2 回行ってきた。教育委員会指導課からのレクチャーを受け、途中出来上がったものをお見せしコメントをいただいた。ガイドブックのイラストは 3 人の方に書いていただいた。

今回から裏表紙に「子どもからの相談窓口」を載せ、清瀬には学校以外にも相談窓口があること書き加えた。

【令和4年度の予算関係】

事務局より内容説明を行った。予算関係資料参照

【令和4年度の事業予定】

事務局より内容説明を行った。予定事業・事業関係資料参照

つながりサポート型事業

清瀬市の特徴としては、令和 4 年 2 月から公立小中学校の保健室で、マスク・生理用品を配布開始した。

ひきこもり女性支援事業

令和 2 年より開始。3年目の今年は4市、1区で連携し事業を行う。

コワーキングスペース運営管理事業

女性起業家の応援・コロナ禍における新しい働き方を応援するため、令和 3 年にオープンした。清瀬市の特徴は、利用者の半分以上が女性であること。令和 4 年はインキュベーションマネージャーを配置し、利用者同士の結び付けを図るお手伝いをする。

委員長

インキュベーションマネージャーの予算や、コロナ禍で困っている女性への講座の予算は。

センター長

委託料に入っているもので、そこから謝礼等を払う。講座についてはつながりサポート型事業の予算から支払われている。

委員長

つながりサポート型事業では市内の NPO 法人等を活用し事業を行えば、より良いと思う。

センター長

委託業者は市内業者ではないが、講師を依頼するとか、事業に付随する保育を依頼するなど市内業者にもご協力いただいている。なるべくたくさんの方に携わっていただきたい。

委員長

来年度からは分科会として行うことはしないのか。

センター長

2年前に今のメンバーが初めて顔を合わせたとき、パートナーシップ制度について進める、または子どものガイドブックの改訂をする時期と重なったため、運営委員会で何かお手伝いをお願いできないかという主旨で始まった。ここで2年の任期が終了するが、ガイドブックについては形ができ、パートナーシップ制度については、清瀬市で動いてきたが東京都の動向をみることにした。新たに話し合うことができれば、メンバーで集まってもらうこともあるが、分科会としては一旦終了と考えている。

委員長

パートナーシップ制度のことについて、委員からお話を聞きたい。

委員

パートナーシップ制度は市議会で陳情が全会一致で通っているのでも話し合ってきたが、今後は東京都の出してきた案に、市が付け加える内容があるかを探りながらやっていきたい。

委員長

DV 相談など何か気になることはありますか

委員

コロナ禍が関係しているかわからないが、相談は相変わらず多い。なおかつ児童センターの大規模改修があり最近まで子ども家庭支援センターが健康センターで事業を行っていた。

最後に委員から、一言ずついただき、終了した。